

平成 31 年度 淑徳 S C 高等部

入学試験問題

英 語

(50分・100点)

一般入試

2月10日(日)

[注意事項]

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないで下さい。
- 2 問題は1～7まであります。印刷がかすれて見にくい場合は、申し出て下さい。
- 3 問題用紙・解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入して下さい。
- 4 解答は、解答用紙の指定された場所に記入して下さい。
- 5 試験終了の合図まで静かに着席していて下さい。
- 6 すべて、監督の先生の指示にしたがって下さい。
- 7 問題用紙も回収します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1 一般リスニングテスト（放送による指示に従って答えなさい。）

【問題 A】次の A~D の中から適するものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

<対話文 1>

- A. last month
- B. last year
- C. this month
- D. this year

<対話文 2>

- A. She likes school lunches better than boxed lunches.
- B. She likes boxed lunches better than school lunches.
- C. He likes school lunches better than boxed lunches.
- D. He likes boxed lunches better than school lunches.

<対話文 3>

- A. She went to Tokyo with her mother.
- B. She went to Tokyo with her parents.
- C. She went to Tokyo with her sister.
- D. She went to Tokyo with her brother.

【問題 B】<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを英語で書きなさい。

<Question 1>

- A. He began to work at the restaurant
- B. He began to cook dinner for her father.
- C. He began to make people happy.
- D. He began to eat more vegetables.

<Question 2>

15 秒程度、答えを書く時間があります。

[2] 次の英文から正しいものを 5つ選び、番号で答えなさい。(順不同)

(1) He can speaks English very well.

(2) She was very tired yesterday.

(3) Where do you live?

(4) She's good in singing well.

(5) Who is you?

(6) Mary is the taller in her class.

(7) This song is loved by many children.

(8) When I was leaving home, it began to rain.

(9) Tom want to buy a new camera.

(10) Which is better, this car or that car?

3 次の（　）内に適語を入れて、日本文に合う英文を完成させなさい。

(1) 私はそこに着くとすぐに、母に電話をかけました。

(①) soon (②) I got there, I called my mother.

(2) 私ではなくトムがこの仕事をしなければなりません。

(①) I (②) Tom must do this work.

(3) 私たちの町はその山で有名です。

Our town is () () its mountain.

(4) 彼はできるだけ速く泳ぎました。

He swam (①) fast as he (②).

(5) 私たちはそのバスに乗りました。

We () () the bus.

(6) 私たちは父を待っているところです。

We are () () our father.

(7) 私は健の家へ行く途中です。

I am (①) my way (②) Ken's house.

(8) もちろん、私は行きます。

() () I'll go.

(9) トムは5月の終わりに日本に来ました。

Tom came to Japan (①) the end (②) May.

(10) 私はあの踊っている女の子たちを知っています。

I know those () ().

4 次の日本文の意味に合うように（ ）内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。

ただし、文頭にくる語も小文字にしてあります。

(1) あそこを走っているあの少女は誰ですか。

Who is (running / that / over there / girl / ?)

(2) 机の下から弟の描いた絵が何枚か出てきました。

I found (by / pictures / my brother / drawn / some / .)

(3) お母さんはちょうど手紙を書いたところです。

Mother (just / has / a letter / written / .)

(4) ボブはもう富士山に登りましたか。

(Bob / Mt. Fuji / has / yet / climbed / ?)

(5) 私はいろいろな国についてたくさん学んできました。

I (learned / about / countries / have / various / a lot / .)

- 5 会話文の(①)～(③)にあてはまるものとして最も適切なものを下のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

Mike: What a big fish!

John: I want to know how big this is.

Mike: Small fish are swimming around the mouth of the big fish.

John: They look like friends, (①) ?

Mike: Yes, they do. John, fish are always swimming in the water tank. Do they sleep?

John: I think they do. I read about it in a book. Look over there! Some fish are not moving.

They are sleeping, (②) ?

Mike: It's interesting to learn how fish live.

John: Yeah, their world is really interesting!

ア they are

イ aren't they

ウ it isn't

エ isn't it

オ do they

カ don't they

[6] 次の英文を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

Kate is a *college student from Australia. ①彼女は2年間日本にいます。 She came to Japan to study Japanese history. She often goes to the city library.

One day she met a boy. He was reading a book about Australia there. She wanted to talk with him, so she spoke to him in Japanese. His name is Tomio. He is from Japan. He is a high school student. After they left the library, they talked a lot about their countries. ②He has never visited Australia, but he is very interested in Australia. Kate and Tomio found the differences (A) Japanese and Australian culture. They *became friendly soon.

On *Christmas Eve, she went to Tomio's father's *bakery to buy some bread. Tomio was helping his father and looked very busy. Some women were buying cakes for Christmas. Kate stayed at the bakery and helped Tomio and Tomio's father. They were very pleased (B) her help. ③その晩、彼らはケイトを夕食に招待しました。

(注) college:大学 become friendly:仲良くなる Christmas Eve:クリスマスイブ

Bakery:パン屋

(1) A, B に入る語をそれぞれひとつずつ選び、記号で答えなさい。

A. ア among イ between ウ of エ for

B. ア with イ on ウ to エ in

(2) 下線部①③の日本語を () 内の語を並び変えて正しい英文にしなさい。

① (years / Japan / been / she / in / two / has / for).

③ (they / evening / Kate / that / dinner / invited / to).

(3) 下線部②を日本語にしなさい。

7 次の英文を読んで、との問い合わせに答えなさい。

Welcome to the City Library. I'm going to tell you about this library.

This library is old, but it is ①(use) by many people in this city. It was built in 1950. Now the *walls are brown, but when this library was built, all the walls were white. There were not many books when it was built, but now we have about 50,000 books. We have about 4,000 books for children and more than 600 books about math.

There are 20 computers in this library. You can use them to find books if you are going to *look for them. You can also use *the Internet.

Now we are ②(make) a new building. It has small rooms for studying. You can use them when you study with your friends.

This library opens at 9:00 in the morning and closes at 8:00 in the evening. It is closed every Monday.

Please enjoy ③(read) in this quiet library and I hope you will learn many things *through reading.

(注) wall:壁 look for ~:~を探す the Internet:インターネット through:～を通じて

(1) ①～③を必要に応じて適当な形に直しなさい。

(2) 以下の質問に、英語3語以上で答えなさい。

A) When was this library built?

B) How many computers are there in this library?

C) When is this library closed?

平成31年度 淑徳SC高等部 一般入試（英語）解答用紙

1	A	1		2		3	
	B	1		2			

2						
---	--	--	--	--	--	--

3	(1)	①		②		(2)	①		②	
	(3)					(4)	①		②	
	(5)					(6)				
	(7)	①		②		(8)				
	(9)	①		②		(10)				

4	(1)	Who is					
	(2)	I found					
	(3)	Mother					
	(4)						
	(5)	I					

5	①		②	
---	---	--	---	--

6	(1)	A		B		
	(2)	①				
		②				
	(3)					

7	(1)	①		②		③	
	(2)	A					
		B					
		C					

受験番号	氏名	

平成30年度 淑徳SC高等部 一般入試（英語）解答用紙

1	A	1	B	2	D	3	C	
	B	1	D	2	He is interested in cooking.			/10

2	2	3	7	8	10		2 × 5	/10
---	---	---	---	---	----	--	-------	-----

3	(1)	①	As	②	as	(2)	①	Not	②	but	
	(3)	famous		for		(4)	①	as	②	could	
	(5)	got		on		(6)	waiting		for		
	(7)	①	on	②	to	(8)	Of		course		
	(9)	①	at	②	of	(10)	dancing		girls		

4	(1)	Who is that girl running over there?									2 × 10	/20
	(2)	I found some pictures drawn by my brother.										
	(3)	Mother has just written a letter.										
	(4)	Has Bob climbed Mt. Fuji yet?										
	(5)	I have learned a lot about various countries.										

5	①	力	②	イ			2 × 3	/6
---	---	---	---	---	--	--	-------	----

6	(1)	A	イ	B	ア	2 × 2		4 × 3
	(2)	①	She has been in Japan for two years.					
	(2)	②	They invited Kate to dinner that evening.					
	(3)	彼はオーストラリアを訪れたことは一度もありませんが、オーストラリアに興味を持っています。						/16

7	(1)	①	used	②	making	③	reading	2 × 3		4 × 3
	(2)	A	It was built in 1950.							
	B	There are 20 computers in this library.								
	C	It is closed every Monday.								/18

受験番号	氏名

平成 31 年度

淑徳 S C 高等部

入学試験問題

国 語

(50分・100点)

一般入試

2月10日

【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないで下さい。
- 2 問題は【1】～【5】まであります。印刷がかすれて見にくい場合は、申し出て下さい。
- 3 問題用紙・解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入して下さい。
- 4 解答は、解答用紙の指定された場所に記入して下さい。
- 5 試験終了の合図まで静かに着席していて下さい。
- 6 すべて、監督の先生の指示にしたがって下さい。
- 7 問題用紙も回収します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【1】次の――線部の漢字の読みを答えなさい。

① 新しい勢力が台頭する。
② 朝食の支度ができました。

③ 飛行機が旋回する。

④ その魚は美味なことで知られる。
⑤ 煙を耕して種をまく。

【2】次の――線部のカタカナを漢字に直しなさい。

シコウ錯誤しながら実験を重ねる。
野鳥がグンシユウししている。

家畜にシリョウを与える。

木のミキが太くなる。

ケイソツな振る舞いを慎む。

【3】次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

「私」は鎌倉で小さな文具店を営むかたわら、手紙の代書を請け負っている。そこに、老人ホームにいる母親に、亡くなつた父親からの手紙を書いてほしいという依頼が舞い込む。

しみじみと、手紙の文面を見つめたま言つた。ひとりでに、ため息がこぼれる。

「お母様は、いつもお父様からのお手紙が来るのを、待つていらしたんですね」

私の放つたその言葉に、清太郎さんが目を閉じて深くうなずいている。

「そして、今もまだ、待つていらっしゃるってことですよね」「

私は、その意味を噛みしめるような気持ちでつぶやいた。

「だから、家に帰させてくれって。その姿を見ていると、切なくなつちゃうんですよ。幼い俺たちの目を盗んで、お袋いつつも郵便受けを覗いてたんだろうなあ、なんて想像するとね。きっと、子どもたちには見せない、秘密の愛だつたんでしょう」

途中から堪えるような声で一気に言うと、清太郎さんは目じりに溜まった涙をそつと拭つた。そして、改めて姿勢を正し、私の方をまつすぐに見て言った。

「天国からの親父の手紙を、かわりに書いてもらえませんか？」

清太郎さんからのお願いに、今度は私が目じりの涙を拭う番だった。

その夜、貿易商をされていたお父様が、清太郎さんのお母様に送つたとされるすべての手紙に目を通した。昔の男の人独特の、かくしゃくとした文字で綴られている。仕事にも常に愛用の万年筆を持ち歩いていたのだろうか。稀にボールペンで書かれたものもあつたけれど、ほとんどは同じ太めの万年筆で、色も黒で統一されているのだった。字もまた、骨格のように遺伝するものなのだろうか。今までそんなこと考

えたこともなかつたけれど、清太郎さんの字は、お父様の書いた字にそつくりだ。

「A」、その字の凛々しい佇まいと相反して、書かれているのは奥さんに対する愛おしさそのものだった。ほとんどすべての手紙が、「愛するチーちゃんへ」もしくは「いとしのチーちゃん」で始まり、最後は必ず「世界で一番チーちゃんを愛しているボクより」となつていた。

清太郎さんのお父様とお母様は、かなり歳が離れていたそうだ。きっとお父様にとつて愛妻は、伴侶であると同時に娘のような存在でもあつたのかもしれない。文字のひとつひとつから、愛情という果汁がほとばしっている。

そして、その果汁は今も潤れずに瑞々しさを保つていて。清太郎さんのお母様は、ご主人から届く手紙を、いつもいつも待つていたに違いない。そうやつて待ちわびることで、会えない日々をつなぎながら生きてきた。

もし今もまだお父様が生きていたら、どんな手紙を書いて送るのだろう。それから幾度も、私は¹想像の翼をはためかせた。

「B」、祝儀袋や表彰状、履歴書などを書く場合は、通り一遍の美しさが求められる。たいていの人は、機械で書かれた活字のような字を美しいと認識する。でも、生身の人間の書く文字には、²単なる美しさではない味が加わる。

書き文字は、その人と共に年を重ね、老いていく。同じ人が書いた文字でも小学生の時に書いた字と、高校生の時に書いた字では当然異なるし、二十代に書いた字と四十代に書いた字も違う。七十年代、八十年代となれば尚更だ。十代の頃に丸文字ばかり書いていた少女でも、おばあさんになればそういう文字を書かなくなるのが自然だろう。文字も、年齢と共に変化する。整形ではない自然の美しさには、老いていくことの美しさもまた含まれるのだ。そんなことを考えていたら、清太郎さんのお父様が今ならどんな文字を書くのか、全くわからなくなつてしまつた。

考えてみれば、私はずつと、先代とふたり暮らしだった。家の中に、男の

人はいなかつた。そもそも父親というのがどんな存在なのかも、全く想像できないのだ。

文面はほぼ出来上がつてゐるのに、それを表現するための文字がわからぬ。書いても書いても、しつくりこない状況が続いていた。

私は、文字通り「C」を繰り返した。何か、悪い物を食べて当たつたみたいに、のたうち回つた。それでも、これだと想える字に辿り着けない。書けば書くほど、迷路の奥へと潜り込んでしまう。

なるべく傘をささずに済むよう、大木の下を選んで歩いた。^{はらまきなんざ}八幡様の西側には、太古の森のような一角がある。ふとひらめいて、近代美術館の門をくぐつた。雨宿りするには、もつてこいの場所かもしれない。

展示品を一通り見てまわつた後、喫茶室に行つてレモネードを注文した。大きく開かれた窓の向こうに、霧雨に煙る蓮池^{はすいけ}が見える。ここに来ると、いつもそうだ。迷宮の奥へと迷い込んでしまつたようで、自分が今、どの時代を生きているのかわからなくなつてしまつ。

レモネードは、極端に甘くて酸っぱかつた。けれど、なんとなく残すのがもつたいたなくて、結局、池を見ながら飲み干してしまう。客は、私以外に誰もいない。壁一面に描かれた壁画も、レトロなレースのカーテンも、オレンジの椅子も、すべてが私の心のおしゃべりにじーっと耳を澄ましている。

すると、私の中でごぞごそと何かが動くのを感じた。最初は、もしかしてトイレに行きたいのかな、と思った。でも違う。何かが動いているのは、私のおなかの中ではなく、心の中だ。まるで、小さな種から柔らかな芽が出て伸びをするように、かすかに私の心の壁を押し上げている。

ささやかな兆候は、やがてはつきりとした胎動に変化した。出なくて出なくてずつと苦しんでいた³あわが、今、ここに来て突如、出口を求めている。

書きたい。出してあげなきや。

清太郎さんのお父様の文字が、わたしの指先から零れ落ちようともがいている。それは、まさに陣痛のようだつた。この兆候を逃したくない。私は、

一秒でも早くペンを握りたくなつた。

慌ててリュックを開ける。けれど、あいにく筆記用具は持つてきていなかつた。こんな時に限つて、なんという愚かなことだろう。これでは、代書屋失格である。それでも、反省している暇などない。今はとにかく、書くことが最優先課題だ。

「すみません！」

カウンターの中で洗い物をしていた店員さんに、いきなり大声で呼びかけた。

「何でもいいので、紙と書くものを貸していただけませんか？」

私の切羽詰まつた様子に気圧されたのか、きょとんとしている。

「こんなものしかないのですが」

店員さんが、戸惑いつつもエプロンのポケットに入れてあつたボールペンを差し出してくれる。

「紙は、注文を取る時に使つていてる裏紙しか……」

そう一言いながら、申し訳なさそうな顔をして私を見る。

「その紙で結構ですので、いただいてもいいですか？」

そうこうしている間にも、清太郎さんのお父様の文字が再び深い眠りについてしまいそうで焦つていた。

「これでよければ、まだたくさんありますので、必要な時はおっしゃってください」

店の人から、ボールペンと紙の束を受け取つた。

お礼を伝え、すぐに自分のテーブル席に戻る。乱れた心をしずめてから、ボールペンをそっと持つ。左手で書くラブレターだった。

「これは紛れもなく、親父の字です」

手紙を見せた清太郎さんは、二度三度と深くうなずいてから、私の目を見て言つた。私も、きつとそだとういう強い確信を持つていた。清太郎さんのお父様は、今ならきっとこういう字を書くに違ひない。

注文を書き記すために用意された素つ気ない裏紙は、手作りの台紙に貼り

付けてある。文字の周りは押し花で飾り、表もすべて押し花で埋め尽くした。その上から薄紙を重ね、ロウ引きしたのである。

お母様は、横浜の自宅でたくさんのお花を育てていたそうだ。花を愛でるのが好きだったという。

そしてこれは、天国からの手紙。天国イコール美しいお花畠だなんて、単純すぎるだろうか。けれどもし、本当に清太郎さんのお父様が天国から手紙を送るとしたら、きっとこうするだろうと思つたのだ。

「親父の字だ」

しばらく無言で手紙を見つめた後、清太郎さんは、4再度そうつぶやいた。「だけど、こんなにたくさん季節の花、どうやって集めたんですか？」表の押し花にそつと手を触れながら、清太郎さんがたずねた。押し花は、幾重にも重ねるようにして貼り付けてある。中には、四つ葉のクローバーも紛れている。

「実は、それが一番苦労したかもしません」

私は正直に告白した。

最初は、アンティークのポストカードに、近代美術館の喫茶室で書いた文面をコピーしようかと思っていた。けれど、そうするとボールペンの筆致は残せても、筆圧はなくなってしまう。臨場感が消えてしまうのだ。それで、やつぱり紙はそのまま現物を使うことにした。

「春とか夏なら、そこら中に花があつて、全く困らなかつたんですけどね」

あいにく今、季節は冬の真つただ中だ。鎌倉にもぼちぼち梅が咲き始めてはいるけれど、梅の花だけでは味気ない。

「バラ、スミレ、スイセン、アジサイ、あと、この赤くて小さい実はセンリヨウですか？僕あんまり植物に詳しくないんですけど」

大きな花の場合は花びらだけをピンセットで抜き取つて、小さな花の場合は咲いている姿のまま、花や花びら以外にも、葉っぱや実などが入つていて、「こうやって見ていると、宝石箱みたいですね」清太郎さんが、少し照れながら言つた。確かに、色とりどりの花びらが一面に散らばつて、宝石のように見える。

「まだ、生きているんですよね」

清太郎さんが、確認するように私の目を覗き込む。

「ええ、まだ生きていると思います」

たとえ地面からは切り離されても、光合成をしなくとも、この花たちはこの姿のまま今もちゃんと生きている。死ぬということは、永遠に生きるということでもあるのかもしれない。

私も、作業をしながらそのことをずつと考えていた。

「親父と一緒になんですね」

だいぶ間を置いてから、清太郎さんがぽつりとつぶやく。

(小川糸『ツバキ文具店』より)

※出題に際し一部を省略してある。

問一 「A」・「B」にあてはまるものを、次のの中からそれぞれ選び記号で答えなさい。(ア～エは一回ずつしか使えないものとします。)

- ア けれど イ だから
ウ もちろん エ きっと

問二 — 線部1 「想像の翼をはためかせた」とあります、「私」は何をしたのですか。文章中の言葉を使って四十字以内で説明しなさい。

問三 — 線部2 「単なる美しさではない味」とはどうのようなものですか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 若かりし頃の書き方を捨て、新たな技術を獲得した文字の書き方。
年齢を重ねても消えることのない若々しさを備えた文字の書き方。
イ ウ イ ウ 年齢を重ねる中で生み出された、とても芸術的な文字の書き方。
エ 年齢の変化とともに変化していく、その人独自の文字の書き方。

問四 「C」に当てはまる四文字熟語として適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 一触即発 イ 千載一遇
ウ 一石二鳥 エ 七転八倒

問五 — 線部3 「あれ」の示す具体的な内容を文章中より十二字で抜き出しなさい。

問六

——線部4「再度そうつぶやいた」とあります、清太郎さんが再度つぶやいた理由として適切なものを次のなかから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 亡くなつた父親の存在を再び近くに感じられて胸がいっぱいになつたから。
イ 自分の書いた文字があまりにも亡くなつた父親の文字と似ていることに驚いたから。
ウ 老人ホームにいる母親にようやく感謝の気持ちを伝えることができると喜んだから。
エ 手紙の内容だけではなく、凝つた装飾に、「私」の苦労がしのばれたから。

問七

——線部5「親父といつしょなんですね」とありますが、「親父」のどのような点が「押し花」と「いつしょ」だと言つてゐるのですか。適切なものを次のなかから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 死んでしまい、今では天国にいるという点。
イ 死んでいても、人の心の中で生き続けているという点。
ウ 生きているときに、人の心に多くのものをもたらしたという点。
エ 長い年月、様々な手紙で人を楽しませたという点。

問八

「私」は「天国からのラブレター」の始まりに何と書きましたか。文章を参考に考えて十字以内で書きなさい。

【4】次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

『「ポスト真実」時代のネットニュースの読み方』（晶文社）の著者で、日本経済新聞の元記者、松林薫さんは、「ネットメディアは利用者に情報や知識を提供するのではなく、手軽な暇つぶしの手段を提供している」と手厳しく指摘します。

そういえば、いつからニュースは「読む」から「見る」になつたのでしょうか。私のまわりを眺めていても「今朝のニュース読んだ?」と言わず「今朝のニュース見た?」と言っています。

画面に流れているテレビニュースならともかく、インターネットは依然として文字ニュースが支配的です。**1** 「読む」と「見る」では大違います。「読む」という行為は、文章の中身をきちんと理解する「読み解き」の力を必要とします。「見る」という行為は、その力をそれほど必要としません。私の場合、スマホは常にズボンの右後ろのポケットに入れています。歩きスマホはもちろん厳禁ですが、通勤電車、エレベーターの中など、外出先で常にニュースが「見られる」状態にあるのは事実です。

駅の階段で立ち止まつてスマホを操作していたとすれば、邪魔だし危ないですよね。自動車を運転しながらなんて論外。この前、トイレの小便器に向かいながら片手でスマートフォンを操作している男性を見かけ、「こんなときここまでスマホとは」と心配になりました。

もちろん設定を変更すれば回避できるのですが、そのままだと、誰かがフエイスブックに投稿したとか、このニュースを読んでくださいとか、雨が降りそうですとか、とにかく**3** 集中力をくじく仕組みが整っている。そんな落ち着かない状態で使うわけですから、ニュースサイトを開いても、スマホの場合は記事を「見る」だけになり、パソコンを用いて、それで初めて記事を「読む」ことになるほうが自然なのかもしれません。

そうなつたときのニュースは、じっくり時間をかけて読むものより、さつと手軽に目を通せるもののほうが、相性がいいでしようし、隙間時間に消費するのに持つてこいのコンテンツとなるのでしょう。

松林さんが指摘したように、暇つぶしにこれ以上ない**2** 「**A**」であり、

スマホのアプリを提供している事業者もいわゆる「隙間時間」を狙つていまます。家電メーカーまで「スキマ時間充実のカギは、」新しい発見を得られるコンテンツ「だと言えます」と宣伝し、家のテレビで録画したテレビ番組を、

スマホやタブレットで視聴できる製品をPRしています。

テレビ視聴機能に限らず、ゲームやニュース、スマホをめぐるビジネスはユーチャーの時間の奪い合いです。少しでも自社のコンテンツに触れてくれれば、課金したり広告収入が得られたりする機会が増えるからです。

一方、ユーチャーがスマホとパソコンを用いてネットに接続する目的が、同じ「情報収集」であろうと、歩いた今まで使う前者と、腰を据えて使う後者では、得られる質に大きな違いが生まれることも容易に想像がつきます。

慣れの問題なのかもしれません、私の場合、スマホだと記事がなかなか頭に入らないので、きちんと理解したいと思つたなら、パソコンか8インチ以上のタブレットで読むことにしています。もつともスマホは簡易な情報収集にはこれ以上ない便利な道具ですから、気になつた記事は**※1** エバーノートに保存するなどし、後であらためて読むようにしています。

さらにスマホで気になるのは、何かの記事を読んでいるときも、寝ているときも、時間や場所を問わずに通知が入つてくることです。スマホは隙間時間を奪うだけでは満足せず、すでにになかのアプリに時間を割いていても、さらに別のコンテンツへ注意を向けようとしてくるのです。

もちろん設定を変更すれば回避できるのですが、そのままだと、誰かがフエイスブックに投稿したとか、このニュースを読んでくださいとか、雨が降りそうですとか、とにかく**3** 集中力をくじく仕組みが整っている。そんな落ち着かない状態で使うわけですから、ニュースサイトを開いても、スマホの場合は記事を「見る」だけになり、パソコンを用いて、それで初めて記事を「読む」ことになるほうが自然なのかもしれません。

そうなつたときのニュースは、じっくり時間をかけて読むものより、さつと手軽に目を通せるもののほうが、相性がいいでしようし、隙間時間に消費するのに持つてこいのコンテンツとなるのでしょう。

芸能人ブログや話題の事件の記事を「**B**」してつくつた、隙間時間に消費できるような、感情に訴えるタダ同然の**※2** コタツ記事があふれた結果、丹念に取材した現代社会や公共に関する知識を必要とする記事が、

開覧数において競争力を持てなかつたことはこれまでに見てきたとおりです。

紙媒体に目を移すと、確かに一般紙の記事はネット全体の記事と較べれば、手をかけている分だけ⁴玉が多い。その側面もあるでしょう。しかし、夕刊紙やスポーツ紙に目を通せば、時に事実誤認に基づいた記事が掲載されることもあるし、まつたくの誤報がないわけではありません。「紙の新聞を読むことで、品位ある正しい情報が常に手に入る」とは誰にも言い切れません。

雑誌も同じであり、「雑誌は正しい情報を伝えるメディアか」という問いは意味をなしません。何枚もの紙を綴じた、「雑誌」と呼ばれる冊子の形をした印刷物だからといって、情報の正確さを約束するものではないからです。UFOが目撃されたり、秘密結社が世界統一を自論⁵めりたり、という話が、雑誌や新聞に印刷されていったからといって「正しい情報」に変わるわけではありません。

一方で新聞、とりわけ一般紙が眞実に対して忠実であろうとしていることは多くの人が認めることです。では、その新聞記事がホームページに公開された途端、逆に信頼を失うのでしょうか。もちろんそんなことはありえませんよね。

新聞「紙」という媒体に信頼があるわけではありませんし、「紙」だから信頼するというのは「C」です。そうだとしたら「新聞紙だから信頼できる」「ネットだから信頼できない」という混乱もなくなるはずで、至極明快です。

つまり「紙」という媒体に対する信頼ではなく「コンテンツ」への信頼が大切なのであり、正しい情報を追求している流通ブランドがあるのなら、「私どものブランドは信頼に足るものである」ともつと強く主張すべきなのではないでしょうか。

※1…インターネット上にデータを保存するサービス。

※2…インターネットやテレビといったメディア上で流通している情報のみを収集、再構成して書く記事のこと。「コタツに入つたままでも手軽に書ける薄い内容の記事」という意味。

(奥村倫弘『ネコがメディアを支配する』より)

※出題に際し一部を省略してある。

問一

「A」～「C」に当てはまる言葉を次の中からそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

ア リライト
ウ ナンセンス
エ デバイス
イ グローバル

問二

——線部1「『読む』と『見る』では大違いです」とありますが、「読む」と「見る」にはどのような違いがありますか。解答欄に合うように三十五字以内で説明しなさい。

問三

——線部2「スマホの登場は私たちの生活を大きく変えました」とあります、「私たちの生活」はどのように変わったのですか。最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

エ ウ イ ア
隙間時間の活用で精度の高い情報収集ができる生活になった。
隙間時間を特定の目的のために有効活用できる生活になった。
隙間時間をくまなく何かしらのアプリで消費する生活になった。
隙間時間に暇つぶしができることで余裕のある生活になった。

問四

——線部3「集中力をぐじく仕組み」とあります、それはどんなことですか。本文中から二十字で抜き出し、最初と最後の四字で示してください。

問五

——線部4「玉」とは、ここではどのような意味で使われていますか。最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

ア エンター テイメント性のある記事

イ 品位ある正しい情報の記事

ウ 不必要な情報まで載っている記事

エ 事実誤認されている記事

問六

——線部5「新聞『紙』という媒体に信頼があるわけではありません」とありますが、では何に信頼を置くべきだと筆者は考えていますか。本文中より五字で抜き出して答えなさい。

問七

本文の内容として適切でないものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 「紙」媒体のニュースであれば必ず正しい情報を載せていくとい

うわけではない。

イ スマホを使って私たちはいつでもどこでもニュースを「読む」ことができるようになった。

ウ コタツ記事が多く生まれたことで、時間をかけて取材した記事の閲覧数が増えなくなつた。

エ 新聞の中でも一般紙は眞実に忠実であるうとしていると、多くの人が認めている。

【5】次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

日本初の「ア」『枕草子』は、どのようにして生まれたのか？作者は、「清少納言」という通称で親しまれている女性ですね。本名は分かりません。父親は、清原元輔。『後撰和歌集』の選者の一人で有名な歌人。『今昔物語集』には、元輔が、巧みな物言いで人を笑わせるユニークな人物として登場しています。清少納言の優れた会話術も父親譲りのものでしょう。

そんな家系の力も働き、清少納言は中宮定子のもとに出仕した。正暦四年（九九三）頃のことです。三十歳近く（今だと四十歳くらいですね）の落ち着いた年齢の初出仕です。宮仕えを終えたのは、それから七年後。定子が二十四歳の若さで亡くなつたからです。

『枕草子』は、定子に仕えた七年間に経験したことや感じたことを綴つたエッセイです。三百近くの章段から成り立っていますが、どれも明るく、中には清少納言の自慢げな顔つきまで見える章段もあります。そうした清少納言に、反感を覚え、『枕草子』を嫌う人もいるほどです。でも、『枕草子』には虚構が施されています。定子の後宮の様子を事実そのままに書いているわけではないのです。定子が上昇気運だったのは、清少納言が出仕してから、せいぜい一年余。

にもかかわらず、『枕草子』には、それらの辛い思いを一切記さなかつた。あくまで明るく輝き意氣軒昂とした後宮の様子を描ききっています。暗く切ない涙をひたかくしにして、『枕草子』は明朗に、屈託のない筆致で書かれている！この事実をおさえてみると、『枕草子』の得意満面な記述も、暖かく受け入れることができます。『枕草子』の魅力も、素直に受け取ることができます。一体、『枕草子』は、どんな魅力を持っているのか？ここで明らかにしたいテーマです。

『枕草子』といえば、誰でも知っているのが、四季折々の最も美しい風物を取り立てた第一段。

「春はあけぼの。**A** やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ。螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光て行くもをかし。雨など降るものをかし。

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとて、三つ、四つ、二つ三つなど、飛びいそぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとをかし。

日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにもあらず。

冬は**B** つとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またらさでもいと寒きに、火などいそぎおこして、炭もて渡るもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちなりてわろし。」

春といえば、夜明け！それが春の風物の中で一番すばらしいと清少納言は主張します。そして、分単位で移り行く春の夜明けの光景を見事に写し出しています。山際の空が「**A**」白んで、辺りがほんのり明るくなる。と、紫がかった雲が細くたなびいている。こういう情景を作りだすから、春の夜明けが一番だと、彼女は言いります。以下、「夏は夜」「秋は夕暮」「冬はつとめて（＝**B**）」と風情のある時間を指定し、それをささえる具体的な風物を目で見えるような描写で示します。

一見誰にでも書けそうに見えて、実はかなり難しい。まず、最も情趣ある事柄を時間という観点から切り取つていくこと 자체が思いつかない。『枕草子』以前の歌集を調べてみても、「春歌」「夏歌」「秋歌」「冬歌」で、時間で切り取られた風物を取り扱つたものは皆無。美的感動を与えるものは、たとえば「春歌」ならば、「桜」「梅」「山吹」「柳」「鶯」「雁」「雨」「霞」といった事物なのです。『枕草子』の、時間から美を切り取る視点がいかに斬新で、人々に衝撃を与えたかが分かります。

さらに、その時刻を彩る具体的な風物が人々の意表をつけ、しかも「なる

ほど」と思わせるものなのです。だから、例示された途端に「そうそう、夏の闇夜にたくさんのがんの「イ」が乱れ飛ぶ姿は幻想的ですばらしい。秋の夕暮れに山の端に日が沈まんとしている時に「ウ」がねぐらをめざして三羽四羽飛んで帰る姿はいいわね。冬の朝、起きた途端に目にする雪景色つて感動的よ」などと、読者が大きく頷き納得してしまう。ただものではない、と思わせるところです。

実は、渡辺実『古典講読シリーズ枕草子』が指摘していますが、こうした風景描写を散文世界に持ち込んだのは、『枕草子』が初めて。しかも、その描写は、実にうまい。雨上がりの後のすばらしい風景描写（一二五段）など、清少納言を嫌つた「エ」でさえ、『²源氏物語』の場面描写にこつそり取り入れているほどなのです。

（山口伸美『日本語の古典』より）

※出題に際し一部を省略してある。

問二 「A」には、——傍線部Aの、「B」には——傍線部Bの現代語訳が当てはります。それぞれ答えなさい。

——傍線部1「最も情趣ある事柄を時間という観点から切り取つてい
く」とあります。が、ア～エのうち「時間という観点から切り取」られ
ている描写には○を、そうでない描写には×を書きなさい。

ア 常よりことにきこゆるもの。正月の車。また、鳥の声。

イ 笛は横笛いみじうをかし。遠うより聞こゆるが、ようよう近くな
りゆくもをかし。

ウ 貝はうつせ貝。蛤。いみじう小さき梅の花貝。

エ 晓に格子、妻戸を押しあけたれば、嵐のさと顔にしみたること、
いみじくをかしけれ。

問四

「イ」・「ウ」に当てはまる語句を古文中から抜き出して答
えなさい。

問五

——傍線部2「『源氏物語』について以下の問題に答えなさい。

1 「エ」には『源氏物語』の作者の名前が当てはります。漢字
で答えなさい。

問一 「ア」には作品のジャンルが当てはまります。適切なものを次の
中から一つ選び記号で答えなさい。

2 『源氏物語』が「あはれの文学」と呼ばれているのに対し、『枕
草子』は何の文学と呼ばれていますか。解答欄に合うように、古
文中から三字で抜き出して答えなさい。

受驗番號

氏名

平成 31 年度
淑徳 S C 高等部

一般入試

数 学

(50分 100点)

2月10日（日）

【注意事項】

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないで下さい。
- 問題は①～⑤まであります。印刷がかすれてみにくい場合は、申し出て下さい。
- 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入して下さい。
- 解答は、解答用紙の指定された場所に記入して下さい。
- 試験終了の合図まで静かに着席していて下さい。
- すべて、監督の先生の指示にしたがって下さい。
- 問題用紙も回収します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

〔1〕次の問いに答えなさい。

(1) $12 \div \left(-\frac{2}{3}\right)^2 - 2$ を計算しなさい。

(2) $9a - \frac{1}{2}(6a - 14)$ を計算しなさい。

(3) $(\sqrt{7} + 2)(\sqrt{7} - 1)$ を計算しなさい。

(4) $-3x - 6 = 7(x + 2)$ を解きなさい。

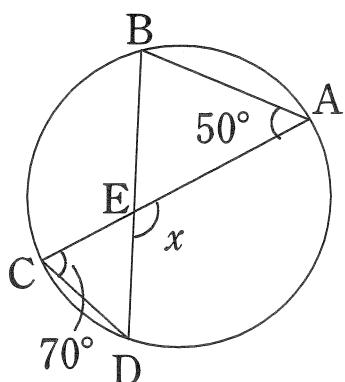
(5) 連立方程式 $\begin{cases} 2x + 3y = 8 \\ 7x + 6y = 1 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 2次方程式 $x^2 + 6x - 16 = 0$ を解きなさい。

- (7) ある学校の60人の生徒について、通学にかかる時間
を調べたところ右の表のようになつた。
生徒の通学時間の平均値を求めなさい。

通学時間 (分)	人数 (人)
以上 未満 20 ~ 30	5
30 ~ 40	10
40 ~ 50	15
50 ~ 60	17
60 ~ 70	8
70 ~ 80	3
80 ~ 90	2
計	60

- (8) 次の図において、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



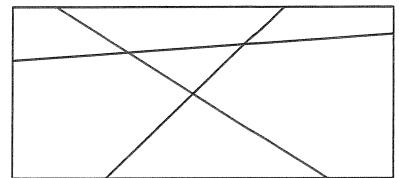
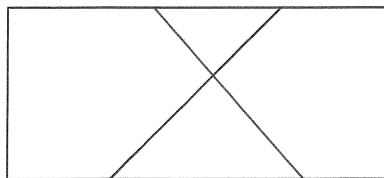
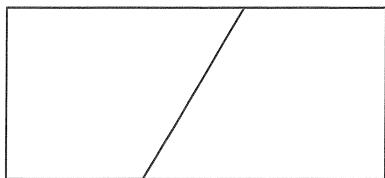
- (9) 下の図のように、直線 ℓ と 2 点 A, B がある。
 $AP + BP$ が最小になるように、点 P を直線 ℓ 上に作図しなさい。

A •

• B

ℓ —————

② 次の文章は、ある中学校の先生と生徒の会話です。空欄 a ~ c を埋めなさい。



先生：図のように長方形に直線を1本ずつ引いて分けていきます。

そのとき、2本の直線は必ず交わるように引いて、
3本以上の直線は1点で交わらないように引きます。
5本引いたら、長方形は何個に分けられますか？

生徒：(a) 個です。

先生：ここからさらに1本ずつ直線を追加していきます。

ある本数を引くと、分けられる部分が12個増えました。
それは、何本目の直線を引くときですか？

生徒：表にしたらわかりそうですね！

本数	0	1	2	3		
分けられる部分	1	2	4	7		

…

(b) 本目です。

先生：最後に直線を25本引いたら、長方形は何個に分けられますか？

生徒：(c) 個です。

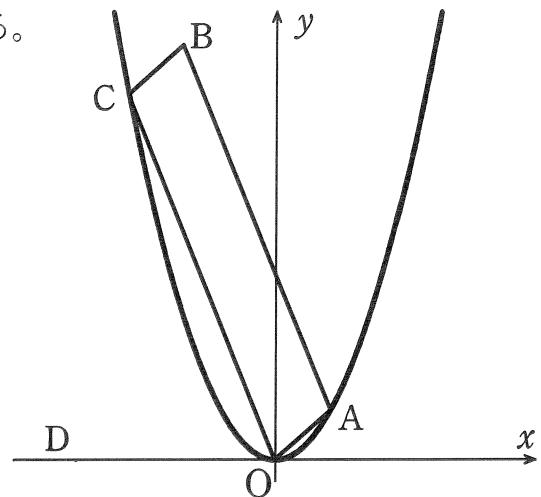
〔3〕 右の図において、四角形OABCは平行四辺形である。

点A,Cは関数 $y=2x^2$ 上の点、点Oは原点である。

点Aの座標が(1, 2)、点Cのx座標が-3のとき、

次の問い合わせに答えなさい。

(1) 点Cの座標を求めなさい。



(2) 点Bの座標を求めなさい。

(3) 平行四辺形OABCの面積を求めなさい。

(4) 点Dの座標は(-4, 0)である。この点Dを通り、平行四辺形OABCの面積を2等分する直線の式を求めなさい。

- 4 右の図のような $\angle C$ を直角とする $\triangle ABC$ に内接する半円 D がある。辺 AB と半円 D との接点を E とする。このとき、次の問い合わせに答えなさい。

(1) $\triangle ABC \sim \triangle ADE$ であることを次のように証明した。

空欄ア～オを埋め、証明を完成させなさい。

【証明】

$\triangle ABC$ と $\triangle ADE$ において、

ア _____ ので

$\angle BAC = \text{イ}$ …①

線分 AB は半円 D における接線であるから、

$\angle AED = \text{ウ}$ である。

よって、

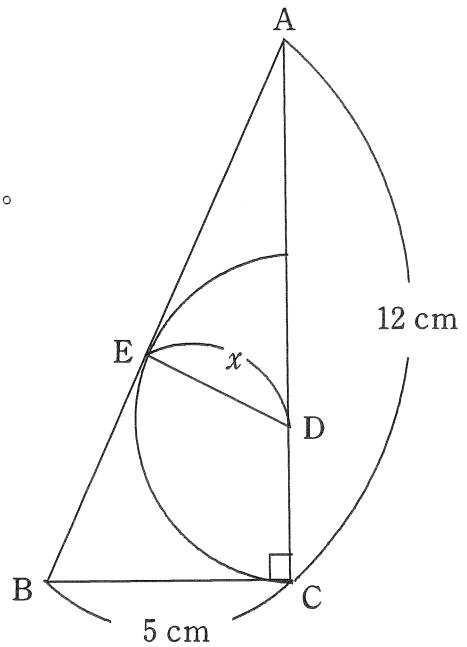
エ _____ $= \angle AED = \text{ウ}$ …②

①、②より オ _____ ので、

$\triangle ABC \sim \triangle ADE$

(証明終了)

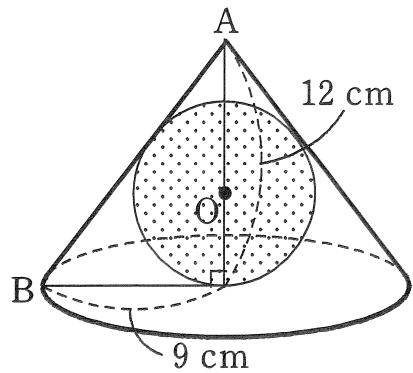
(2) ED の長さ x を求めなさい。



5 右の図のように、円錐に球 O が内接している。

円錐の底面の半径が 9 cm、高さが 12 cm であるとき、
次の問いに答えなさい。ただし、円周率は π とする。

(1) 円錐の体積を求めなさい。



(2) 球 O の体積を求めなさい。

1	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	
	(7)	
	(8)	
(9)		
2	(a)	
	(b)	
	(c)	

3	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
4	(7)	
	(1)	
	(1)	
	(I)	
	(才)	
	(2)	
	(1)	
5	(1)	
	(2)	

受験番号		氏名	
------	--	----	--

評点	
----	--

1	(1)	25
	(2)	$6a + 7$
	(3)	$5 + \sqrt{7}$
	(4)	$x = -2$
	(5)	$x = -5, y = 6$
	(6)	$x = -8, 2$
	(7)	50 分
	(8)	120 度
(9)		

2	(a)	16
	(b)	12
	(c)	326

3	(1)	(-3, 18)
	(2)	(-2, 20)
	(3)	24
	(4)	$y = \frac{10}{3}x + \frac{40}{3}$
4	(7)	共通する角
	(1)	$\angle DAE$
	(2)	90°
	(I)	$\angle ACB$
	(才)	2 組の角がそれぞれ等しい
	(2)	$\frac{10}{3}$
5	(1)	$324\pi \text{ cm}^3$
	(2)	$\frac{243}{2}\pi \text{ cm}^3$

受験番号		氏名	
------	--	----	--

評点	
----	--